

令和6年6月10日

2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO法人森のようちえん・太陽と緑の風クラブ
ホーム名 自立援助ホーム KOKORONE
代表者・役職名 氏名 ホーム長・遠藤健充

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

KOKORONE クリスマスコンサート

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

令和4年7月、法人では2拠点目となる自立援助ホーム(男子6名定員)を開所しました。開所してすぐに定員に達し、全員が学生(高校・大学・専門)のホームです。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

幼い頃から、乳児院や児童養護施設で育ち、支援を受けることが当たり前になっているホームの利用者達に、応援してくれる方や支援してくれる方への感謝の気持ちを持たせたいと考え、自分たちでコンサートを企画運営し、感謝の気持ちを伝える場を作りたいと考えました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

ホーム利用者と施設スタッフが協力してクリスマスコンサートを開催する。

準備にあたっては、事前に施設スタッフと子どもからなる実行委員会を発足し、コンサート内容や役割分担を決める。出演者は、地域に根付いた演奏家を選出する。コンサートではホームの紹介も行い、理解を深める場とする。

事前にチラシを作成し、学校や施設関係へ案内状とともに郵送する。また、周辺の店舗などにチラシを設置してもらえよう働きかける。SNSでも積極的にアピールする。

コンサート当日の業務(司会、受付、設営、避難誘導など)は子ども全員で行い、施設スタッフは補助的な役割を担う。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「達成感」「団結力」が生まれました。司会を担当したメンバー、受付や通路担当、みんなで協力してコンサートを成功させました。日頃はあまり関わりのないメンバーも一緒に作業する事で仲間意識が高まりました。また、コンサートの終わりには多くのお客様に「頑張ってるね!」「応援しているからね!」と声をかけて頂き、更に感謝の気持ちが高まりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

このようなプロジェクトは今後も継続したいと思いますが今回のコンサートの演奏者はプロの方をお呼びしての演奏会なので出演料の経費がかさみました。今後ホームの経費でこれを継続して行くことは不可能なので、内容を再検討し経費を抑えたコンサートの開催が出来るよう検討したいと考えます。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



